

# 代表質問

3月定例会では、会派を代表する4人の議員が、年度の予算などについて「代表質問」を行いました。質問者の文責により質問と答弁の要旨を紹介します。★詳しい質問内容は、会議録をご覧ください。

## 清風クラブ

佐藤 貴子 議員

### 市長に問う、施政方針より



**問** 一般会計歳入では法人市民税の落ち込みが著しく、市税全体では前年度比約28億円の減収を見込んでいます。新型コロナウイルス感染症の収束がまだ見えないうちで、本市の財政運営について見解を伺う。

**市長** 一般会計では、歳入の根幹である市税の大幅な減収が見込まれることから、これまで着実に積み立ててきた財政調整基金の活用や、市債の発行に加え、事業の緊急性を十分に精査して一部の事業を先送りするなどにより財源を確保した。一方で、感染症の拡大防止に向けた取り組みや、デジタル技術の活用による新たな日常の構築に向けた取り組みなどに財源を集中することで、感染症への対応、未来につながるまちづくりを進めることとした。

状況においては、これまでに以上に全体最適の考え方に基づき、選択と集中の視点を持って行財政改革を進めることで、効率的・効果的な行財政運営によるまちづくりを実現していく。

**問** 今までしっかりと積み立ててきた財政調整基金があり、この1年間はその取り崩しをすることができた。今後、コロナ禍の影響が回復する兆しが見えたときに、経済を回して財政調整基金を積み直していかなければならないと思う。どのような見通しを立てているのか。

**市長** 今回思い切った財政調整基金を使うが、標準財政規模の10%である70億から80億円ぐらいの基金が常に必要である。それに向けて、事業を精査し、取り組みを効率的に進めていくという状況において、年度間の予算に、ある程度余裕ができたときにはしっかりと積み増しをしていきたいと思っている。

**問** 令和3年度の市債残高は全会計でいくらか。

**市長** 3年度末の見込みは約1086億円である。

**問** どう減額するのか。

**市長** 将来世代への過度な負担とならないよう、選択と集中の視点で事業の精査を進め減額に努めていく。

**問** 債務負担行為はどう減額するのか。

**企画政策部長** 財政状況を鑑み、適正な取り扱いをしていきたい。

**問** 本市のコロナ対策

**市長** 市内病院の新型コロナウイルス感染者の病床利用率を伺う。ほかの疾患

**問** 患者への影響はないのか。

**市長** 新型コロナウイルスの患者を受け入れているのは平塚市民病院、平塚共済病院と把握している。市民病院は専用の病床を70床設置し、利用率は最高で約91%であった。新型コロナウイルス以外の患者の緊急入院は、可能な限り対応し、緊急搬送の受け入れは従来どおりの断らない

市民の理解が前提となる。市民の気運が高まった段階でしっかりと対応していきたい。

**問** リトアニアとの交流における共生社会の実現とはどういうことか。

**市長** これまでさまざまな分野で交流を進めているが、姉妹都市締結は議会や

デジタル化の取り組みを着実に進めていく。

**問** 中心市街地活性化推進事業として、平塚駅北口下りエスカレーター及びエレベーター利用経路の整備費として約5億3千万円を計上している。事業のスケジュールと、期待される効果を伺う。

**市長** 駅北口は、市民の利用が最も多い乗降口であるにも関わらず、下りエスカレーターやエレベーターが設置されておらず、長い間不便をかけている。下りエスカレーターの整備に関し

**問** このほかの質問

**市長** ふるさと納税による元年度の市民税の減収額は約3億1千万円である。

**問** 個人情報保護条例違反による告発が不起訴になったという内容が、2年10月23日に市のホームページで発表された。なぜ本人が否定しているのに3万1429件の個人情報を持ち出したと発表し告発したのか。本市職員が家族2人に選挙権が及ぶことを告発の根拠としているが、証拠能力が脆弱ではないか。

**総務部長** 本人が面談で、欲しいファイルなどを移そうと思っていたとの主旨の話をしていて、データの記録や6回にわたる面談など、多くの事実の積み重ねから持ち出した可能性が高いと判断した。

つひらぎ・無所属クラブ

金子修一 議員

平塚市役所 行政改革

オンラインピック・パラリンピック予算

大会終了後、担当課はどうするのか。

**市長** 事務内容を他課に引き継ぐなど、組織を整理していきたいと考えている。

**問** リトアニアとの姉妹都市締結は考えているのか。

市締結は考えているのか。外国との交流には費用も掛かるので、慎重な対応を望むが見解を伺う。

**市長** これまでさまざまな分野で交流を進めているが、姉妹都市締結は議会や

渡部議員 不起訴の検証

**問** 個人情報保護条例違反による告発が不起訴になったという内容が、2年10月23日に市のホームページで発表された。なぜ本人が否定しているのに3万1429件の個人情報を持ち出したと発表し告発したのか。本市職員が家族2人に選挙権が及ぶことを告発の根拠としているが、証拠能力が脆弱ではないか。

**総務部長** 本人が面談で、欲しいファイルなどを移そうと思っていたとの主旨の話をしていて、データの記録や6回にわたる面談など、多くの事実の積み重ねから持ち出した可能性が高いと判断した。

ふるさと納税 増収の対策

**問** 元年度の市外への流出額を伺う。

**市長** ふるさと納税による元年度の市民税の減収額は約3億1千万円である。

**問** 返礼品は担当課任せではなく、庁内で総合的に対策を講じてはどうか。

**企画政策部長** 今後、全庁的に働き掛けるなどの工夫をしていきたい。